

令和元年度 名寄市議会 「市民との意見交換会」実施報告

名寄市議会の活動状況を市民の皆さんにお伝えし、市民や市が抱える課題について意見を交換するため、平成29年度から議会報告会を2回開催してまいりました。前回からは「市民との意見交換会」と名称を改め、議会からの報告を最小限にとどめ、市民の皆さまとの意見交換を重視するよう心掛け開催しています。

今回の意見交換会には全体で78名の方にご出席をいただきました。ご参加の皆さまからは、議会運営に対するご意見や意見交換会の開催方法をはじめ、防災に関するご意見や、継続的な地域課題など、行政に対する要望等も多くいただきました。改めまして、ご参加をいただきました市民の皆さまに感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

お寄せいただいたご意見やご要望などに対しましては、議員間で情報を共有するため、9月2日に全議員参加による意見交換を行い内容の全体化を図ってきたほか、市政に対する要望については、内容を精査し、6項目について市長の見解を求めるべきと判断し、同月6日に、正副議長、議会運営委員会正副委員長から加藤剛士市長に文書で見解を求めてきたところです。

これからも議会全体が一体感を持ち「市民から信頼される議会づくり」に邁進するとともに、市民の皆さんの期待に応えるべく積極的な活動を行ってまいります。

今後も市議会の動向にご注視いただきますようお願い申し上げますとともに、「市民との意見交換会」等にご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。



【実施概要】

今回の意見交換会は、2班体制とし、市内6会場で開催いたしました。

開催にあたり、議員自らが資料を作成するとともに、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、『議会だより かわら版』を作成し、公共施設に掲示するとともに、市内報道機関への記事掲載依頼、議会だより、市議会ホームページによる日程周知、さらには全議員が1人30枚の案内チラシを市民の皆さんに配布し参加を呼びかけました。また開催にあたり町内会長はじめ町内会の役員の方々にも周知にご協力いただきました。改めてご協力いただいたことにお礼申し上げます。

議会側からは、前回の報告会以降に開催された定例会の審議状況、各常任委員会の活動計画、政務活動費の執行状況について説明をさせていただきましたが、できるだけ報告時間を短縮し、市民の皆さまとの意見交換や対話の時間を重視し開催させていただきました。

意見交換の主な内容としては、市民生活に関する意見・要望のほか、地域課題などの困りごとを中心に、議員定数や報酬、行政視察に対する意見など、議会運営に対する意見も多くいただき、改めて議会改革の必要性を認識したところです。

なお、出されたご意見やご要望については、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせいたします。



【班編成及び担当会場】

《A班》

班長 東 千春（議長、市民福祉常任委員）
班員 倉澤 宏（議会運営委員会副委員長、市民福祉常任委員）
高橋 伸典（総務文教常任委員会委員長）
山田 典幸（経済建設常任委員会委員長）
東川 孝義（市民福祉常任委員会副委員長）
黒井 徹（総務文教常任委員）
遠藤 隆男（総務文教常任委員）
富岡 達彦（経済建設常任委員）
三浦 勝秀（経済建設常任委員）

**担当会場：名寄市民文化センター、名寄市立大学図書館、智恵文多目的研
修センター**

《B班》

班長 佐藤 靖（副議長、総務文教常任委員）
班員 塩田 昌彦（議会運営委員会委員長、経済建設常任委員）
高野美枝子（市民福祉常任委員会委員長）
川村 幸栄（市民福祉常任委員）
山崎真由美（総務文教常任委員会副委員長）
佐久間 誠（経済建設常任委員会副委員長）
清水 一夫（総務文教常任委員）
五十嵐千絵（市民福祉常任委員）
今村 芳彦（経済建設常任委員）

**担当会場：ふうれん地域交流センター、駅前交流プラザ「よろ～な」
名寄東小学校**

【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおりです。

A班－1 名寄市民文化センター 参加25人

◆議員の班割について

問 担当議員の班割で性別が偏っている。この班には女性議員がいない。たった4人しかいない女性議員をなぜこの配置にしたのか。女性議員の立場を大切にしてほしい。

答 班割は各委員会などの役職や会派のバランスで分けているが、男女比に関してはバランスを欠いた結果となったと感じている。以後配慮する。

◆JR北海道の問題について

問 JR北海道が大変な状態になっている。政策の失敗なのだから国の責任を追及すべき。またサービスやダイヤを利用者目線で改善してほしい。JR側の経営努力が必要。

答 地域としても努力はするが、国や道がしっかりと責任を持つべきだと思う。宗谷本線活性化推進協議会の会長を加藤市長が担っており、しっかり訴えていると聞いている。また、公共交通網の構築も重要。

意 名寄駅にはエレベーターがなく足が不自由だとJRは利用できない。JR離れを防ぐためにも車いすでも利用できる施設にしていくべき。

◆自動車運転免許の返納について

問 免許返納時のサービスが自治体によって様々。名寄市の場合は免許証に代わる身分証明書しか発行されていない。公共交通に関する補償などが必要では。

答 現状の市のサービスは安全グッズの配布と運転経歴証明書発行手数料分となる1,000円の商品券配布。この課題は一般質問でも何度か取り上げているが、市からは、財政上の厳しさや、元々免許を持たない方との整合性ということでサービス拡充は難しいとの回答があった。高齢者の移動手段の確保という観点で今後も訴えて行く。

意 クルマの購入と維持には年間20万程度の経費がかかるはず。その分をタクシーなどに使えば問題ない。返納を推進するにはサービスも必要かもしれないが補償等がなくても問題ないという考えもある。

◆エンレイホールへのアクセスについて

問 エンレイホールへのバスの便が悪い。エンレイホールでアンケートなども実施しているが、来ることのできない方の意見は聞けていない。何か催しがある時に臨時でバスを出すことはできないのか。

答 エンレイホールは公共施設であり、公共交通や市民の声などの状況を把握しながら多くの市民が利用しやすい環境を作ることが必要。また、必要に応じ学校や施設などへ、アウトリーチという形で芸術・文化をお届けするというような取り組みも行われている。

◆名寄振興公社の問題について

問 ピヤシリスキー場等を名寄振興公社が指定管理で管理しているが、行政側から必要に応じた指導が必要。業務報告の回数などはどのような決まりになっているのか。また、指定管理料を支払う時期や回数は。

答 指定管理料の支払や業務報告に関しては協定で定めている。支払い回数は年に3回から4回程度が多いと認識している。

問 指定管理を公募によらずに決めているのであれば、業務内容の精査は厳しく行うべき。また、指定管理制度に対する行政の考え方を議会側でしっかり質するべき。名寄振興公社の問題についての対応の検討をお願いする。

答 不確定要素が多い状況だが、金額的なことなど一定程度明らかになった段階で判断ができると思う。行政側からは9月の第3定例会までに全容を解明し、今後の計画についても明らかにしたいと説明を受けている。その段階で議会としての望ましい対応を検討して行きたい。

問 昔は公社に市職員が出向していたが、議会の指摘で引き上げたと記憶している。公社職員は厳しい職場環境で働いている。現状の解明も今の人員では無理。市から職員を派遣してしっかり調査するよう議会からも指導すべき。

答 通常業務を続けながらの調査であり大変な苦勞をしていると思う。市からの職員派遣などについては持ち帰り、市がすべきことを含めて協議させていただく。

意 税金が投入されることになった場合、簡単に了解できるものではないと思う。議会として市民の理解が得られるような対応をお願いする。

◆選挙の投票率について

意 統一地方選挙における投票率が極めて低かった。行政や議会のやり方が市民の意向に沿っていないために市民が無関心になっているのではないか。どのような議会活動をすべきかが重要になっている。

◆JR北海道の問題について

意 JR北海道は廃線処理会社だと思っている。議会と理事者側で直球勝負の質疑をすべき。宗谷線を残すべきか否か。バス転換ではダメなのか。氣迫を持った理事者側との渡り合いを市民は期待をしている。

◆合併後の状況について

問 風連と名寄との合併から10年以上経過しているが、互いの歴史もあり、全ての団体や組織を一つにというのは難しいことだと思う。心の合併をするために何が必要なのかを議員の皆さんにも考えていただきたいし、市民の歩み寄りも必要だと思う。

答 議員が率先して一体感を持ったまちづくりをしてなければならないと思っているが、十分とは言えない。双方に残っている団体や組織もあるが、連携しており、そういったつながりを深めていくことが大切。

◆錦通の改名について

問 錦通の信金ふれあい支店からエンレイホールまでの道を「エンレイ通」に改名してほしいと思うが、どのように進めたらいいのかご意見をいただきたい。

答 手続きも含めてどういう手順がいいのかを改めて確認させていただいてお答えしたい。

◆弥生公園などの立木管理について

問 弥生公園の木が切られ山積みになっていた。また、南広場の東側の木も突然切られた経過がある。特に弥生公園は公園整備というより伐採のように見える。木も市の財産なのだから大切にしたい。

答 弥生公園の雑木については、何年も前から弥生地区の皆さんから市に対し、桜に悪影響を与えているため整理してほしい旨の要望があったと認識している。

意 単に木を伐採するのではなく、きれいな公園を作り育てるという意識をもって整備を行って欲しい。

◆合同墓について

問 名寄に合同墓が建つという話を聞いたが、そういう計画があるのか。

答 一般質問でも確認してきたが、合同墓の設置について検討を行うと聞いている。

A 班 - 2 名寄市立大学 参加 6 人

◆公園や道路の管理について

問 公園の遊具や市道の補修、街路樹の剪定などの地域要望に対し、即効性を持ったスピード感のある対応をいただきありがたい。町内会から要望を上げていたが、それ以上に一生懸命やってもらっており今後にも期待している。

答 公園遊具や道路関係については、少しずつ改修が進んできている。老朽化も広範囲にわたっているので、これから年次的に進んでいくのではないかと考えている。

◆空き地の管理について

問 空き地の草などがひどく、ゴミや犬のふんなどの不法投棄にもつながっている。市から土地の所有者に指導して欲しい。また、議会としての取り組みにも期待したい。

答 民地ということで市が直接対応することはできないが、指導などは必要だと思う。また、犬のふんなどは自主的にマナーを守っていただけよう啓蒙・啓発が必要。

◆名寄市営球場について

問 名寄市営球場で高校野球が開催されないのが残念。設備の問題もあると思うが高校野球を開催できる球場にしてもらいたい。

答 フェンスの基準を満たしていないため高校野球が開催できていない。財政的な面もあり改修に至っていないのが現状。また、駐車場が確保できないこともネックになっている。

◆選挙の投票率について

問 市議選挙を含め選挙の投票率が低い。これまで投票所を減らした実態はあるのか。高齢者対策を含め、投票がしやすい対策を望む。

答 投票所は減らしていない。選挙権が18歳以上となり大学に臨時の投票所を作るなど、投票しやすい環境作りを進めているが投票率は低い。我々議員も大きな課題だと思っている。

◆道路の改修について

問 古い道路の真ん中に鉄棒が露出しているところがある。補修はしていただいているが、危険なので抜本的な改修を望む。

答 市の所管部署に内容を伝達する。

◆町内会の現状について

問 町内会の加入率が下がっていて役員の成り手もない。市の広報にも小さく加入促進の広告は出ているが、市が本気で町内会活動を重視している気持ちの伝わるような宣伝・広報をしてほしい。

答 市としても努力をしてもらっていると思っている。抜本的な解決策は難しいが、町内会が衰退しないようみんなで支えていかなければならない。行政がどこまで介入すべきかもこれからの議論になってくると考える。

A 班－ 3 智恵文多目的研修センター 参加 8 人

◆名寄振興公社の問題について

問 名寄振興公社の問題があったが、日進地区の施設は名寄市にとって大切な財産であり、市民も大きく期待している。議会として公正な対応をして欲しいと思っている。また、公社の期末の決算状況は。

答 市からは、温泉改修の実施設計を発注済みであるが、状況を鑑み一時ストップをしている。9月定例会までには新しい決算を整え、再建計画も明らかにしたいと説明があった。議会としては、しっかり数字等が定まった段階でお知らせしていきたいと考えている。平成30年度の決算は、黒字で提出されたが、9月までに精査し再提出される予定。

◆移住された方への支援について

問 地域に移住された方がいる。水道の敷設や合併浄化槽設置などに市の補助は受けられないか。

答 経緯は存じ上げている。水道については個人の敷地までは補助の対象となるが、市のルールでは合併浄化槽は対象とならない。今後、移住者に対する支援などを名寄市全体で考えていけるよう要請していきたい。

◆新規就農支援の要件拡大について

問 新規就農者の免許取得補助の対象が後継者限定となっており、後継者の配偶者は対象とならない。配偶者にも制度を拡大できないか。

答 農業経営の場でも女性の活躍というのが大切である。特にICTを活用した農業では女性が活躍する幅も広がっている。補助対象の拡大については、市の所管と二ーズの調査を含め、検討を進めるよう協議する。

◆名寄振興公社の問題について

問 名寄振興公社について、情報が明確になっていないことで、地域に公社の利用を控えるような風潮が広がっている。利用に問題がないのであれば、今だからこそ

利用促進のアナウンスをすべきではないか。

答 通常業務は変わらず継続している。持ち帰らせてもらい検討させていただきたい。

◆道立公園のカーリング場について

問 カーリング場は、道立公園の一部として道が管理しているが、以前、10年で市に移管されると聞いた。既に10年は経過しているが現状は。

答 市に移管されるという話しは今の段階では聞いていない。今後についての打診も今のところはない。

意 市に移管となると負担が大きくなるので、今のままがよい。

◆水道料金について

問 水道料金の値上げがあった。サンルダム計画の話の中で、サンルダムが完成後は料金が安くなるという話しを聞いたが実際はどうか。

答 サンルダムが出来たから料金が下がるということはない。

◆喫煙者への配慮について

問 日本全体が禁煙ブームで喫煙者は肩身が狭い。市のたばこ税も2億を超えていると思うが、市の関係施設もほとんど禁煙。あまりにも冷たいのではないかと考えている。何か考える余地はないものか。

答 国の法律で市庁舎内は禁煙となったが、市民の皆さんも含め喫煙者に配慮し敷地内に喫煙所を用意している。

◆旭川大医学公営化の影響について

問 旭川大学の公営化の議論が進んでいる。旭川の動きをどのように捉えているのか。

答 名寄にも影響があると思っている。今後、所管の委員会で学長を含めた大学関係者との意見交換を行う予定である。少子化の影響も心配だが、現状では定員を満たしており、国家試験の合格率や就職率は非常に高く、大学の質を求めて全国から受験されており、その部分を強化していけば今のところ心配ないと推察する。

B班－1 ふうれん地域交流センター 参加15人

◆農業の担い手対策と牛の哺育事業について

問 農業の担い手について、最近では毎年10人前後と担い手が増えている。背景として市とJAとの協力による担い手対策があると感じる。その一環となる免許の補助だが、対象に農家子弟という定義があり、子弟の配偶者は該当にならないので、その垣根をなくして欲しい。また、JAで牛の哺育育成事業を計画している。畜産関係ではいまだやったことのない多額な費用を要する事業。国の補助も活用するが、2/3程度の自己資金が必要となる。補助残含めて市からの金銭的な支援など協力をお願いしたい。

答 予算が関わる話となる。議会には議決権はあるが、予算の編成、提案はできない。ただ、今後、市長への申入れを検討していくので市長から回答を求めるなどの対応も出てくる。また、経済建設常任委員会としても協議が必要な内容と受けとめる。

◆農業基盤の維持について

問 地域で農地をどのように守っていくかが課題。土地を増やすと機械や労働力の確保も必要となるが、農業者が疲弊する農業経営は本末転倒となる。後継者や新規就農者には農業を楽しんでいる姿を見せることが大切。

答 仕事量と投資のバランスは難しい課題。経営中心で忙しいのみでは基盤となる家庭を築くことができない。JAや関係団体と協議しながら農業の持続的な発展を目指す必要がある。

意 息子がUターンで農業を継いでいる。農協の青年部に入ることによって後継者同士のつながりが出来ている。本人もその関わりを大切にしておりありがたく感じる。

問 土地を守るという意味では、担い手対策は重要。ただ、土地が売れずにやめたくてもやめられない方のことも課題となる。数十年先を考えると農家戸数は半数程度になることが想定される。効率的な農業経営のためにも土地改良事業をやっていかなければならない。また、若者は戻ってきているが、お嫁さんがいないため子どもも増えず、地域を維持していくことが出来なくなる。農家以外も同じ状況で若者が結婚に関心がない。

答 過疎化が進み日本の食を支える農業が真っ先に疲弊していくのではと危惧している。これからは行政とJAや生産者と消費者が一体となって地域を守っていく取り組みをしていかなければならない。地元出身の議員を通じて皆さんの声を議会に届けて欲しい。所管の経済建設常任委員会でも若い農業者と話すことが必要。場合によっては正副議長、JA組合長、市長が入ることも含め、そういう機会を設けていただければいいと思う。

意 農家の担い手対策は重要であり、地域の人口基盤を支える地方創生そのもの。花嫁対策など含め努力をしてきているのはわかるが、意識の盛り上がりがないのでは。議会が音頭をとって行政と一緒に盛り上げて行き、市民が動けるような仕組みを作っていければいいのでは。農家だけでなく商店街の担い手も同様。杉並区との交流も含め、人的交流の場を作っていけるよう議論してほしい。

◆旧風連地区のごみ焼却場について

問 旧風連町のごみ焼却場の問題がわかれば教えてほしい。

答 名寄地区も含め、ゴミ焼却場の解体は相当の経費がかかるため話が進んでいない。

◆スポーツイベントのPRについて

問 名寄のサマージャンプ大会に有名選手が出場するがPRが足りない。横の連携が出来ていないのでは。新聞なども活用し市民周知することを検討すべき。

答 名寄のジャンプ台は大きな財産。有効活用して市民にも有名選手が来ることを伝えるべき。改めて周知の機会を設けなければならない。

◆教育委員会の傍聴について

問 教育委員会の外部評価委員をやっているが、教育委員会の傍聴をしたことがない。新聞や広報にも出るが、非公開の部分もある。教育委員会の傍聴を議員のみなさんはしたことがあるか。

答 人事に関わることなどは公開できないが、ほとんどオープンになっているので傍聴は可能。

◆災害時の拠点機能について

- 問 昨年のブラックアウト時に翌日市役所に寄ったが地域よりも復旧が遅れ機能が麻痺していた。地域の中核となる市役所がそういう状況で大丈夫か。
- 答 ブラックアウトは想定外だった。市庁舎の階段は窓がなく真っ暗で歩けないという状況だった。行政側もいい意味での教訓とし、今後に生かすとのことであった。

◆東風連駅の移転について

- 問 東風連駅の名寄高校前移設の件は今の利用状況を考えるとやむを得ないと思っているが見解は。
- 答 東風連駅は市長の公約となっている。中心市街地の活性化との関係もあるが、東風連駅を名寄高校前に移すことが理想的なのかということも考えていかなければならない。
- 意 東風連駅から名寄高校間の冬の通学時に人身事故が懸念される。大型も通るので轍もでき危険な状態となっている。東風連駅が名高前に移ればそういう危険もなくなるので前向きに進めてほしい。

◆地域公共交通について

- 問 東風連地区で道北バスの路線変更の話が出ている。決まったことなので話は理解するが、もう少し地域に配慮が欲しい。旧忠烈布線の代替措置があるが東風連地区から風連市街地間で1日1往復のみ。せめて昼間も運行してもらえれば利用しやすくなる。また、東風連は風連も名寄も同じぐらいの距離。直接名寄に行けるような検討も必要。高齢者の免許返納の問題もあるのでそれを促す意味でも考えてほしい。
- 答 公共交通に関しては名寄のやり方はベターであってベストではないと思う。高齢化が進み、免許返納の問題もある。みんなで意見を出し合い、より安心して使えるものにしていかなければならない。今任期はスタートしたばかりなのでこの4年間で検討し、冬でも買い物や病院に行け、安心して暮らせる名寄市にしたい。
- 意 デマンドを両親が使っていて感謝しているが、目的地は一箇所ではなく地域から風連市街地、そこからさらに名寄へというニーズもある。利便性をもう少し検討し利用価値を高めるなど、内容を見直す機会を設けてほしい。

◆高速道路整備に係る雨水対策について

- 問 今後高速道路が出来た場合、雨水が直接流れてくる。現状でも風連別川の下流は被害があり危険度が増す。対策を何か考えてくれているのか。
- 答 高速道路の雨水については、市長への申入れに向けて盛り込めるか検討したい。また、高速道路は国交省の管轄。地域に懸念があるということをお話していかなければならない。

◆停電時の高齢者対応について

- 問 市の水道が地域全体に行き届いていない。停電になった場合、対応に苦慮する高齢者世帯があることを市でも認識しておいてほしい。
- 答 ブラックアウト時に智恵文でも酪農家が発電機で対応するなど苦労していた。緊急時の対応は必要だと思う。地域コミュニティでカバーしていくことと同時に、設備を整えることも必要。

◆災害時における地域の支え合いについて

- 問 各町内会には民生委員がいるが、避難行動要支援者の名簿があっても個人情報のこともあり皆に見せることはできない。水が出なくなった時には、市から見回りの要請があり、高齢者や独居世帯を僕らも回った。そういう時の対応が確立されていることが、地区に住み続けられる大きな要素だと思う。町内会役員や民生委員だけでなく、地域全体で考えていくことが大切であり、互いの助け合いをより一層強めていかなければならない。そのことを若い人たちにも理解してほしい。
- 答 高齢者を地域で支えて行くことが必要。行政だけでなく向こう三軒両隣ぐらいの思いがないといざとなった時に動けない。また、避難行動要支援者名簿の作成については法律で決まっているがまだ作成できていない。一般質問の際には総務と福祉で取り組むという回答があった。改めて議会で徹底したい。

B班－２ 駅前交流プラザ「よろーな」 参加17人

◆政務活動費について

- 問 政務調査費の報告で未使用の金額が多い。何故こんなに余るのか。普段の勉強などにもっと活用すべき。
- 答 政務活動費を活用し先進地視察などを行っており、主に旅費、宿泊費、資料等の費用に活用している。視察に際してはできるだけ安価に収まるよう努力しており、成果として先進地視察の内容を一般質問や委員会審査に反映している。市民の皆さんの声を市政に反映するためには、研修は非常に大事なことだと思う。今後もしっかり研修を行いご報告も含めてしていきたい。
- 問 個人的に勉強や活動されている方が多いと思う。会派の政務活動費だと個人では使えない。報酬も低いと思うが、自己負担で活動するということはおかしい。議員さんが積極的に活動できる仕組みを作るべき。
- 答 議員個々の勉強や活動としては、町内会や団体で役員を担うなかから声を聞き勉強していくということもある。日頃から自分の足で調査研究をする姿勢を持っている。自己負担でいうと、例えば携帯電話代の何割が議員活動なのかはわからない。議員個々の活動が停滞しないように工夫しながら取り組んでいきたい。
- 問 政務活動費をもっと使って欲しい。足りなくなるぐらいに動いていただいて、堂々と使ってもらいたい。
- 答 政務活動費を活かすことをしっかり考えて行き、その成果をしっかりと市民の皆様あるいは名寄市の市政に還元していきたい。

◆議員報酬について

- 問 議員報酬の金額は妥当なのか。
- 答 一般の議員は月額31万円。近隣の比較でも同レベルで土別さんと同じ。最近よく話題になるのは、以前は3期務めると議員年金が支給された。現在はその制度が廃止されており、そういう面でも議員の担い手に影響が出ている。定数を削減し議員報酬を上げるという議論もあるが市民理解が前提となる。これまでの流れから考えると定数削減について少し議論をしなければならない。当然ながら報酬も並行して議論が必要と考える。

◆名寄振興公社の今後について

問 名寄振興公社の話があったが、あちこちで第三セクターが破綻している。今は良くて10年後20年後名寄市民の負担がどれだけになるのかを含め、緊張感を持って対応すべきものだと思う

答 9月議会で経営状況と再建計画の報告がされる予定。今は赤字なのでなんとか助けなくてはならないと考えるが、それが繰り返されることになると議会としても市民の皆さんに説明ができない。議会全体の議論にするのか、所管の経済建設常任委員会でやるのか、あるいは特別委員会を組織してやるのかというのはこれからの議論になると思う。上川北部全体どこも赤字。人口減少と高齢化の影響もある。それをこれからどう考えて行くのかを議論していかなければならない。

◆常任委員会のあり方について

問 各委員会の今後の取り組みとして、各所管事業の現状把握をすることは当然のこと。一歩踏み込んで、何が問題なのか、何が課題なのかということを徹底的につき詰めるような取り組みをしてほしい。

答 委員会については、それぞれ前任期4年間はテーマを決めて取り組んできた。今任期も委員会個々にテーマを設定し、現状や実態を分析しながら、じっくり調査して行きたい。

◆市立病院の神経内科について

問 難病指定されているパーキンソン病を患っている。平成27年に国の方で難病法という法律が制定され、名寄保健所においても難病地域連絡協議会が設置されているが、現状としては保健所が年2回の会議を行っているだけで、各市町村における具体的支援体制はないと思われる。ぜひ名寄市の行動計画の中に難病に対する項目を加えてもらいたい。また、高齢化に伴ってパーキンソン病を中心とする神経性の病気の方が増えているが、市立病院の神経内科の診療体制は、第1第3水曜日のみの診療のため、多くの人旭川や札幌の病院に行かざるを得ない。ぜひ市立病院の神経内科の診療体制について検討していただきたい。

答 意見交換の内容を精査し市長への申し入れを行うので、その中で検討させていただきたい。市立病院の神経内科についても状況を聞いたことがないので病院に確認するとともに、ひとりでも安心して暮らせる名寄市にすることが大切だと認識している。

◆議会から行政へのチェック機能について

問 高齢者福祉施設への非常用発電機導入補助の補正予算が議会で可決されているが、規模によっては有資格者が必要となる。そういう部分を行政が理解して進めているのかなど、議会として指導やチェックが出来ているのか。

答 発電機の関係は、議会としても理解できていない部分があるので、内容を調査させていただきたい。

◆冬に散布される滑り止めの砂について

問 カーブで散布している滑り止めの砂が用水路に入る。市に実態を伝えると対応はしてくれるが、担当者変るたびに同じことが繰り返される。引継ぎを十分に行ってほしい。また、道路の雪が畑や農地に積まれることがあり営農に支障が出ている。市に指導していただきたい。

答 全体的な共通認識にさせていただいて、実態を調査しながら担当者に進言できる
よう対応していきたい。

◆アライグマの対応について

問 ここ数年でアライグマの数が非常に増えている。農家でも罠をかけて捕っている
が、農村部で捕獲しなくなるとおそらく市街地にも入ってくるはず。引き続き市
の協力をいただきながら駆除していきたい。

答 鳥獣被害については農業生産に影響を与える部分もあるので、しっかり対応を求
めていきたいと思う。

◆中名寄地区の水道について

問 中名寄地区には市の水道が供給されていない。私のところでは昭和51年に農業
関連事業で上水道を設けさせていただき、現在4件がそれを使っているが、かな
り古い施設であり今後の使用に不安がある。ぜひ市の水道を供給いただきたい。

答 今後の見通しを含め、少し調査をさせていただきたい。

◆保健センターのリハビリ教室について

問 足が不自由なので保健センターの無料リハビリに行っているが来年でなくなっ
てしまう。国の方針だということだが、お金のある人はいいけど、ない人はどう
するのか。補助なども考えてほしい。

答 みんなが安心して暮らせる名寄どうやって作っていくかという意味で課題とし
て預けていただきたい。

◆女性議員の活躍について

意 この意見交換会の議員の班分けで女性議員が全部この班に集まっているのは問
題。役職などで分けているとは思いますが、性別のバランスも考えてほしい。また、
常任委員会も4人のうちの3人が市民福祉常任委員会に入っている。議員の数も
男女が半々になるように配慮することが必要。女は政治に関わるなという日本の
システムみたいな部分があるように感じる。女性にぜひ頑張ってもらいたいと思う。

B班－3 名寄東小学校 参加7人

◆意見交換会の開催方法について

問 意見交換会の開催は平日でなければならないのか。土日の方が集まりやすいので
は。

答 多くの方と意見交換できるよう考えてきたが、土日に開催したことはない。曜日
や時間帯について検討させていただく。

◆名寄振興公社の問題について

問 名寄振興公社について、行政の仕事が正しく行われているのかをチェックするの
が議会だと思うが、チェック体制の責任はどこにあるのか。9月に市長から議
会で報告すると発表があったが、温泉やスキー場を含め守っていかなければならない
施設であり、市民への説明責任や税金の拠出などについて議員の皆さんからし
っかり追及してほしい。

答 名寄振興公社の問題については、市民の皆さんにしっかりお伝えしていかなければならないし、そのための議論をしっかりしていきたいと思う。日の出湯もやめることが決まっており、名寄市にとって大切な施設となる。ただ、施設の改修計画が進んでいて、基本設計を終え実施設計がスタートしていたが、この問題を受けて設計が一時ストップしている。

◆水害に向けた対策について

問 3年前に名寄川があふれそうになった。水害防止に向けて川底をきれいにしてほしい。管理が道や国ならきっちり要望してほしい。

答 天塩川が国、名寄川や豊栄川は道。要請はしているがなかなか成果につながらない。道の財政も厳しい状況。災害が起こってからでは遅いので未然に防げるようにやっていきたい。

◆停電時の対策について

問 ブラックアウトが冬だったらどうだったか。老人福祉施設などの自家発電について整備したという報告もあったが、避難所にも自家発電を備えるべき。議会でも質問していたが、予算が…ということで終わっている。もっと追究すべき。市民の生活がかかっているのできっちり対応してほしい。

答 ブラックアウトが冬に起きていたらひどいことになっていた。冬の暖房や発電機など含めてしっかり考えていかなければならない。過去に高見区の町内会館を借りて冬季の防災訓練をやった。再度理事者に冬季防災訓練を行うよう具申したい。

◆議員への相談について

問 町内会長として行政に相談することがあるが、身近な議員さんも頼りにしている。直接議員さんに電話で相談してもいいのか。

答 ぜひ相談してほしい。課題があれば委員会全体で話をすることもできるし、個々に話してもらっても構わない。

◆相談内容などの情報公開について

問 町内会からの相談やその結果、市への要請内容などは議会だよりに出るのか。

答 市長へ申し入れて回答を得た場合、「議会だより」などを活用し市民の皆さんにしっかり公開していく。

◆市の防災訓練について

問 防災訓練があったが、どこの町内会が該当していたのかわからなかった。また、対象の町内会の選定方法は。高見区は水害の対象にならない地域で、受け入れることを想定した訓練しか今のところやっておらず、逃げる訓練はしていない。シニア住宅があり高齢者を大勢抱えている。生活の安心を確保することが課題。

答 町内会の選定はリスクの高い町内会を中心に選んでいる。防災は地域で協力していくことが大切。その中で行政はどこで支援できるか、議会がどこで応援できるのかという仕組みに変えていくことが必要。意見交換会が終わった後に市長への申入れを検討するが、避難場所についての点検をする必要がある。発電機や冬の対応などが求められる。今日の意見などを参考としながら対応していくので時間をいただきたい。

◆政務活動費について

問 政務活動費について、調査研究費の内訳を教えてください。

答 政務活動費は基本的に各会派の行政視察に使用している。会派で抱える課題や勉強すべきことを選定し視察を実施し、視察後は会派内で課題の検討をしたり、地域の実情に置き換えて一般質問や委員会の質疑などに反映している。

◆風っこそうや号について

問 宗谷本線の観光列車「風っこそうや号」に名寄市としてどう関わっているか。

答 名寄はひまわりのシーズンなので鑑賞の機会を設けたり、特産品の販売をすると聞いている。

◆JR北海道の問題について

問 JR問題は全道的な議論を作るべき。宗谷本線活性化推進協議会の会長が名寄市長なのだから沿線自治体や議会に対し名寄が先頭に立って体制を作り、道や国に働きかけなければならない。JRは安全だし価値がある交通手段。そのことをどう広げるかが重要。議会にも議長会がある。沿線の議会に声掛けして道北が一体となった議論をしていただきたい。

答 高齢化が進むなか住民の足をどう守るかが課題。宗谷本線活性化推進協議会は行政中心に進められているが、議会の議長も参加している。また、全道市議会議長会という組織もあり、抱える路線は違っても北海道の路線をどう守っていくのかという部分では一致する。今後は輪を広げていって地方から声を上げていくことが必要。議会側も声を上げていきたいと考えるので時間をいただきたい。

問 JR職員は精一杯やっている。しかしJRの体制や組織としての力がない。政治的解決に向けて動き、国に対して約束が違うということを訴えるべき。また、宗谷本線活性化推進協議会でJR北海道の提案を受けるとなり、各自治体が負担金を出していくことになったが、JRを止めないで残して行くための具体策を名寄市が先頭に立ち各自治体をまとめていくべき。ロシアとの国交も含めて広い視野で残す方策を考えてほしい。

答 議会のできることは限界があるが、基本的には利用促進をしていくことが大切。近隣自治体とも連携するとともに、名寄出身の道議も巻き込みながら道議会の場でも訴えてもらうという対応も必要。

令和元年度「市民との意見交換会」アンケート結果

ご回答いただきましたアンケートの集約結果は次のとおりです。また、ご回答いただいた市民の皆様は60人で、回答率は76.9%となっています。

※（ ）の数字は回答者数です。

問1 あなたの年齢は？

- ①20代（3人） ②30代（3人） ③40代（5人） ④50代（5人）
⑤60代（14人） ⑥70代以上（30人） 未回答（0人）

問2 あなたの性別は？

- 男（46人） 女（13人） 未回答（1人）

問3 今回を含め、これまでに『市民との意見交換会』及び『議会報告会』に何回出席したことがありますか？

- ①初めて（19人） ②2回（12人） ③3回（8人） ④4回（4人）
⑤5回以上（16人） 未回答（1人）

問4 今回の『市民との意見交換会』の内容はどうでしたか？

【全体的に】

- ①よかった（28人） ②ふつう（22人） ③よくなかった（2人） 未回答（8人）

【報告内容は】

- ①わかりやすかった（22人） ②ふつう（23人） ③わかりづらかった（5人）
未回答（10人）

【意見交換内容は】

- ①よかった（29人） ②ふつう（18人） ③よくなかった（1人） 未回答（12人）

※今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

- ・大変良い機会。時間、回数等も適当と思う。新人議員の抱負等も聞ければと思った。
- ・夜の時間帯で若い世代、子育て世代に限っての開催も考えてほしい。
- ・せっかくの意見交換なので沢山の意見を聴くようにしてほしい。
- ・各議員が呼びかけをしてほしい。
- ・開催の時間を考えてほしい。市内2日では少ないと思う。
- ・参加者が少ないので市民周知が必要だと思う。
- ・開催時間が重なっているのは何故か。
- ・活発に意見がでていたし、進行もスムーズでよかった。
- ・若い世代の参加者が多数参加されていて良かったが、商業関係者がいないのが残念だった。フランクな雰囲気良かった。
- ・女性の参加を望むが女性議員を1班に偏らせず2人ずつにしたらいいと思う。（2名）
- ・また来たい。
- ・JAとしての立場から意見、要望をされていたが「市民との意見交換会」としては違和感を持った。法人、事業者向けの意見交換を行ったらどうか。
- ・年に何度か実施してほしい。
- ・市政や議会のあり方等を話し合い、自由に話しができるような場にしてほしい。
- ・時間が不足しているようだ。色々な意見があるのもっと時間を取った方がいい。
- ・意見交換会は大変重要だと思う。若い人が思いを伝えられるよう継続を望む。
- ・公社問題を早期に解決すべき。

問5 議会だよりはお読みになりますか？

- ①毎回読んでいる（31人） ②たまに読んでいる（25人） ③読まない（2人）
未回答（2人）

問6 議会ホームページはご覧になりますか？

- ①よく見ている（7人） ②たまに見ている（23人） ③まったく見ない（13人）
④見方がわからない（3人） ⑤見る手段がない（11人） 未回答（3人）

問7 議会中継（同時中継、録画中継を含め）はご覧になったことがありますか？

- ①よく見ている（3人） ②たまに見ている（16人） ③まったく見ない（20人）
④見方がわからない（5人） ⑤見る手段がない（14人） 未回答（2人）

問8 議会を傍聴したことがありますか？

- ① 傍聴したことがある（25人）（平均2.5回程度）
② 傍聴したことがない（33人） 未回答（2人）

問9 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

- ・委員会で議論を重ねて一般質問された方がいいと思われる場合もある。時間の無駄のないように議会が進められればと思う。
- ・困っている市民の小さい声を聴いてほしい。選ばれた議員ではないのか？上からの目線が多いのでは？
- ・ピヤシリの問題、JRの問題について大変だと思うが市民のために良い方向に進むよう期待している。
- ・議員の若返りで期待することが多い。
- ・住みよいまちづくりのため、議員がどのように話し合いをしているのか分かった。今日は若い方が参加されて良かったと思う。地域がますます良くなることを願っている。
- ・課題も沢山あるが、業界団体とも連携いただきながらお願いしたい。
- ・議員の皆さんには頑張ってほしい。活躍を期待する。（2名）
- ・議会に力が不足している感じがする。市に引きずられるような議会ではなく、市を元気づけるような議会にしてほしい。市民は議会を見ていない気がする。市民が議会を押し上げるような姿勢がほしい。
- ・今回出た意見を是非検討してほしい。
- ・今後とも市民の意見を尊重する議会運営をお願いする。